

令和5年度 国語科授業改善プラン

令和5年度全国学力・学習状況調査〔国語〕の結果から、本校の現状と授業改善の視点を分析する。

集計結果

対象児童数		国立市立国立第三小学校	東京都（公立）	全国（公立）
		96	92,171	964,177

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)			
			貴校	東京都（公立）	全国（公立）	
全体			75	69	67.2	
学習指導 要領の 内容	知識及び 技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	5	78.1	73.6	71.2
		(2) 情報の扱いに関する事項	2	69.3	66.5	63.4
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	0			
	思考力、 判断力、 表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	78.1	73.5	72.6
		B 書くこと	1	40.6	28.9	26.7
		C 読むこと	3	81.9	73.2	71.2
評価の観点	知識・技能	7	75.6	71.6	68.9	
	思考・判断・表現	7	74.4	67.0	65.5	
	主体的に学習に取り組む態度	0				
問題形式	選択式	9	78.7	75.9	73.6	
	短答式	2	72.9	66.4	62.7	
	記述式	3	65.3	51.4	51.1	

1 本校の現状

令和5年度の結果については、「知識、技能」「思考力、判断力、表現力」「A 話すこと」「B 書くこと」「C 読むこと」どの領域においても、東京都の平均、全国の平均を上回る正答率である。

具体的には、「A 話すこと・聞くこと」においては4.6%、「B 書くこと」においては13.9%、「C 読むこと」においては14.2%と、本校児童の正答率が全国平均よりも高い結果が得られた。

とくに、「B 書くこと」においては、全国の平均正答率が26.7%、東京都は28.9%と低い数値であるにも関わらず、本校では40.6%と差をつけた正答率が出ている。これは、昨年度の分析で「書くこと」に苦手意識があることを踏まえ、各担任が書くことを意識した指導を行っていたことや、日頃の読書活動の意欲の高さ、家庭学習の充実の成果とも言える。

2 授業改善の視点

「書くこと」の正答率は全国平均と比べると高いが、本校の中で比べるとやはり苦手な児童が多いことが伺える。決められた文字数の中で、自分の考えを理論立てて書き表すという力を身に付けるには、引き続き、日々の「書くこと」の学習を重点的に行い、学習を積み重ねていくことが必要であろう。また、書くことに慣れさせるためには、他教科でも、意図的に自分の考えを書く機会を増やしていく必要がある。何を、どのような順序で書いたら読み手に伝わるかを明確にし、書くことに抵抗がなくなるよう指導を継続していく。